

株式会社 **MORESCO**

地球にやさしいオンリーワンを世界に届けるMORESCOグループ

第3四半期業績の概要

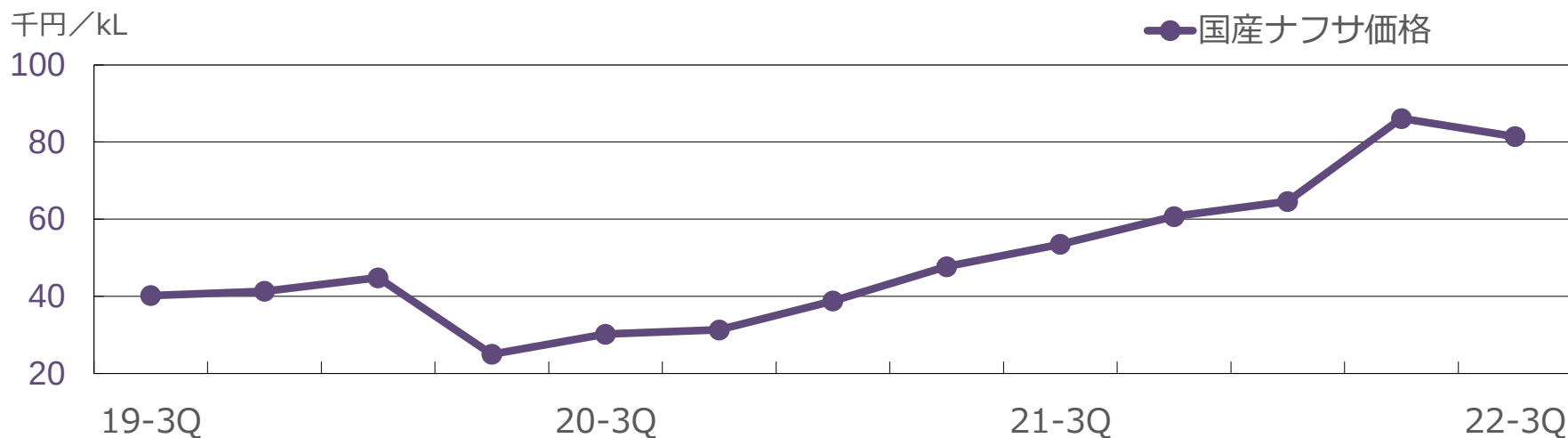
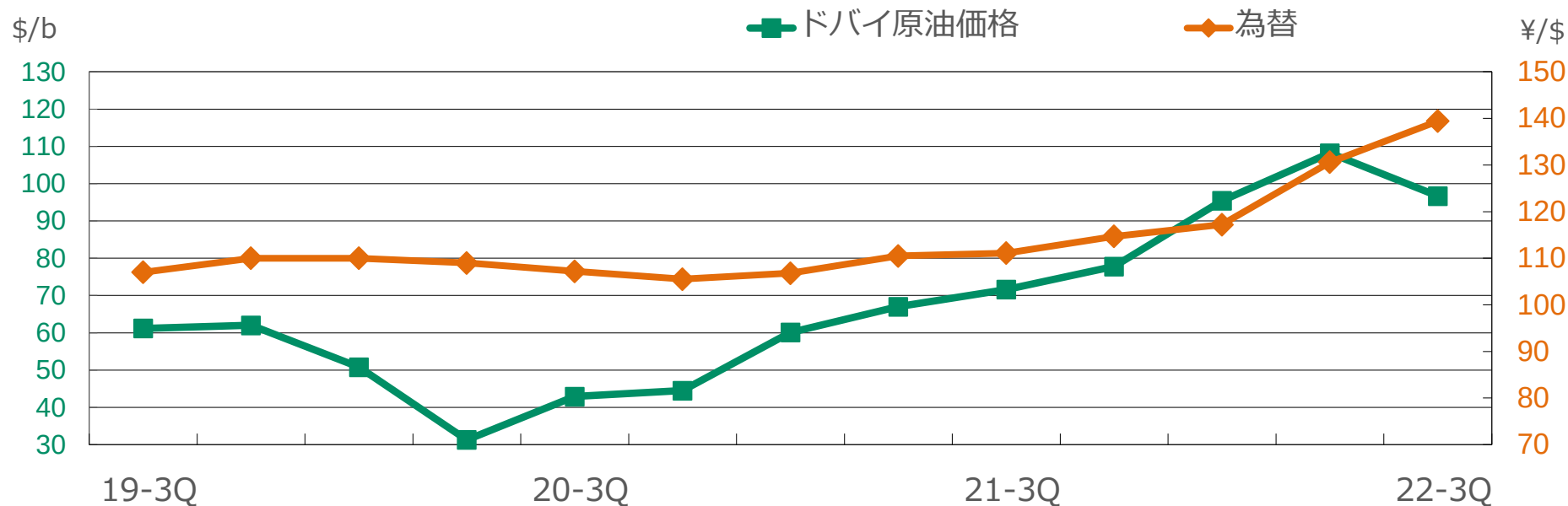
(2022年3月1日～2022年11月30日)

東証プライム 5018 (石油・石炭製品)

2023/1

当期の経営環境（１）

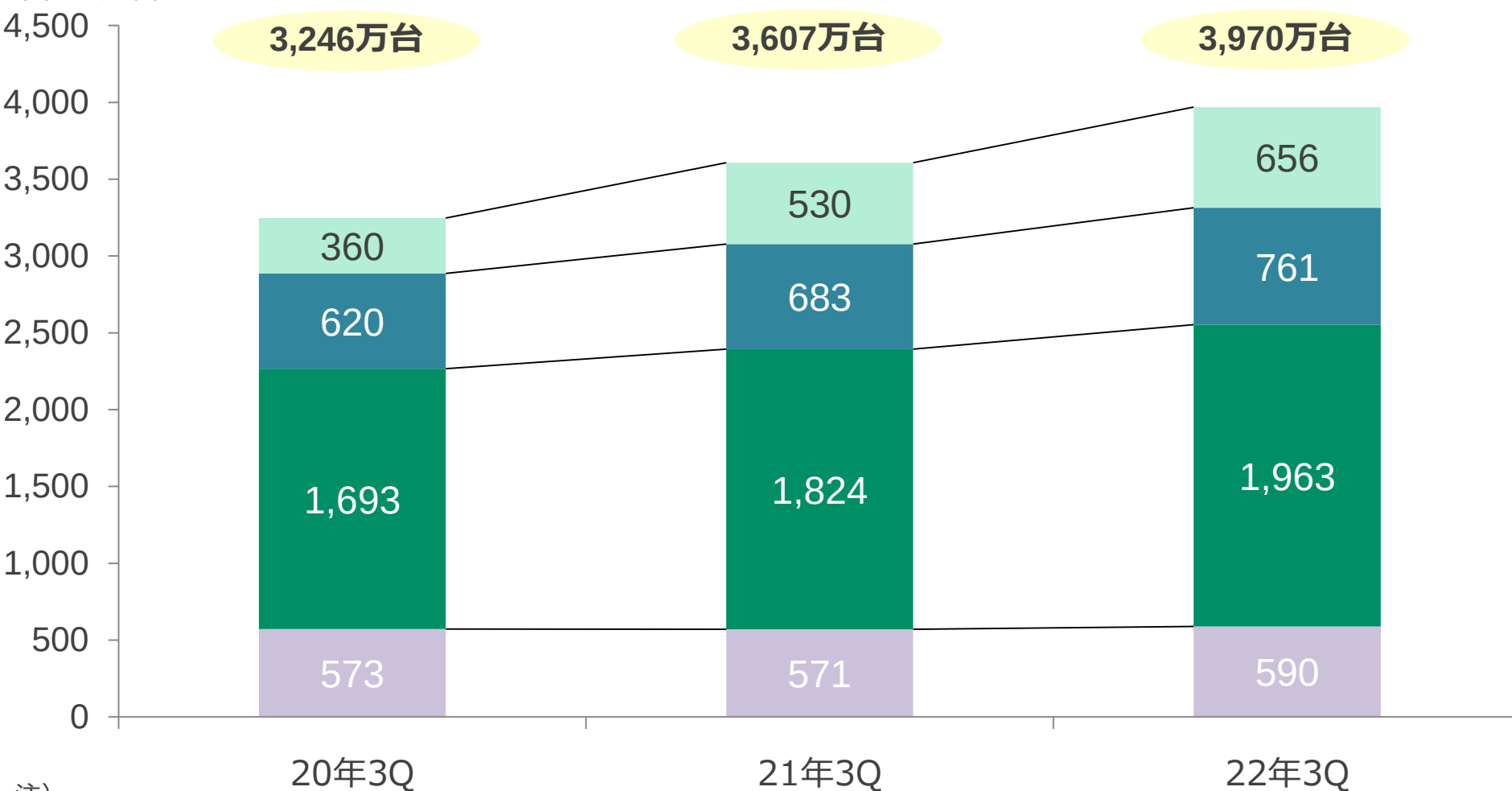
MORESCO



当社拠点所在地における自動車生産台数

出典：マークラインズ社

単位：万台



注)

①日本は3～11月で、海外は1～9月で集計

②東南/南アジアはタイ、インドネシア、インドを集計
(当社製造販売拠点所在地)

■ 東南/南アジア ■ 米国 ■ 中国 ■ 日本

- 製品販売価格是正により増収となったものの、原材料価格の更なる上昇により利益率は低下

単位：百万円

科目	21 / 3Q累計	22 / 3Q累計	前年比
売上高	20,415	22,479	+10.1%
売上総利益	6,772	6,188	△8.6%
販管費	5,397	5,677	+5.2%
営業利益	1,375	511	△62.8%
営業外損益	357	632	+77.1%
経常利益	1,732	1,144	△34.0%
特別損益	833	—	—
税引前利益	2,565	1,144	△55.4%
当期純利益 (※)	1,730	719	△58.5%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

部門別売上高の内訳

MORESCO

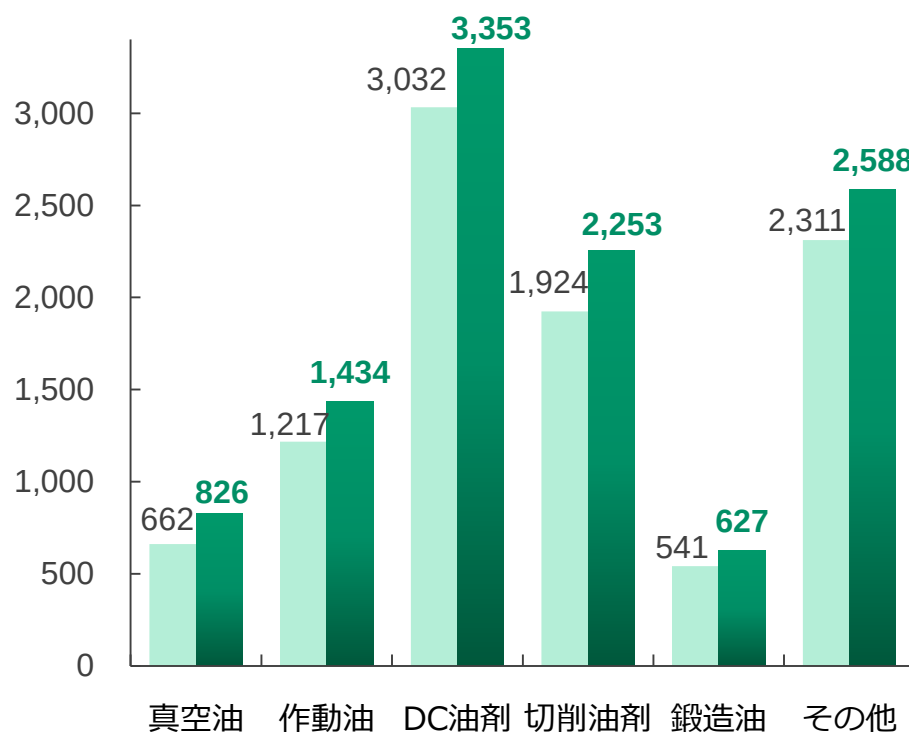
単位：百万円

科目	21 / 3Q累計	22 / 3Q累計	前年比
特殊潤滑油部門	9,687	11,081	+14.4%
合成潤滑油部門	1,529	1,381	△9.7%
（うち、HD潤滑剤）	529	527	△0.5%
素材部門	2,579	2,849	+10.5%
ホットメルト接着剤部門	5,086	5,801	+14.1%
その他	1,526	1,368	△10.4%
化学品事業計	20,407	22,479	+10.2%
ビル事業	8	—	—
売上高合計	20,415	22,479	+10.1%

➤ 部門全体の売上は前年比14.4%増（11,081百万円）
数量は0.3%減

単位：百万円

■ 21年3Q ■ 22年3Q



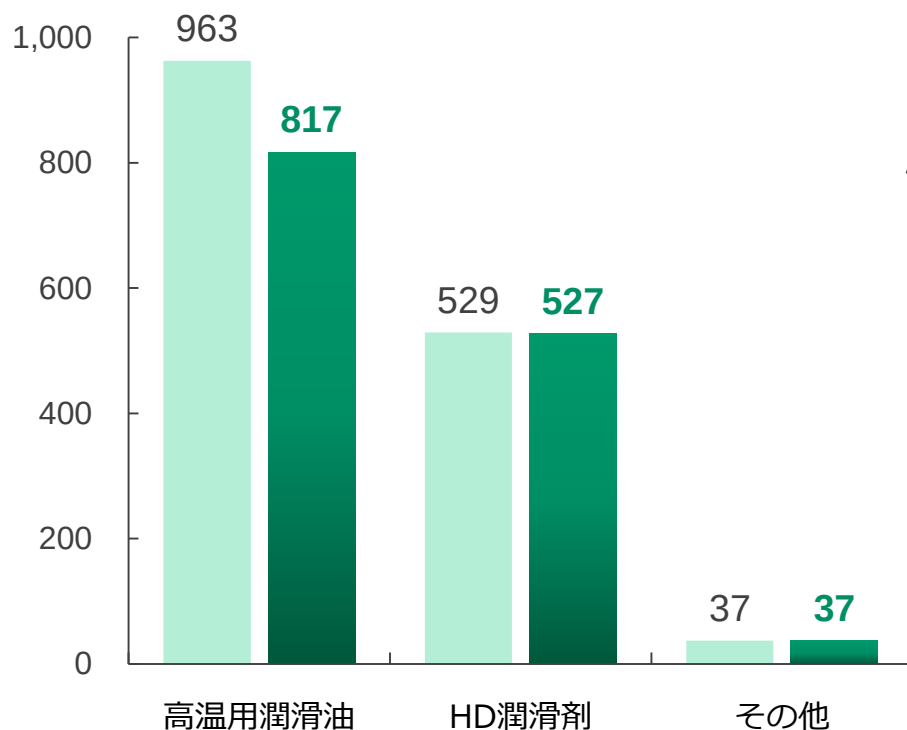
➤ 販売価格是正により、単価は上昇

➤ 数量面では、ダイカスト用油剤の減少を、難燃性作動液の需要回復や切削油剤の新規拡販等でカバー

➤ 部門全体の売上は前年比9.7%減（1,381百万円）

単位：百万円

■ 21年3Q ■ 22年3Q



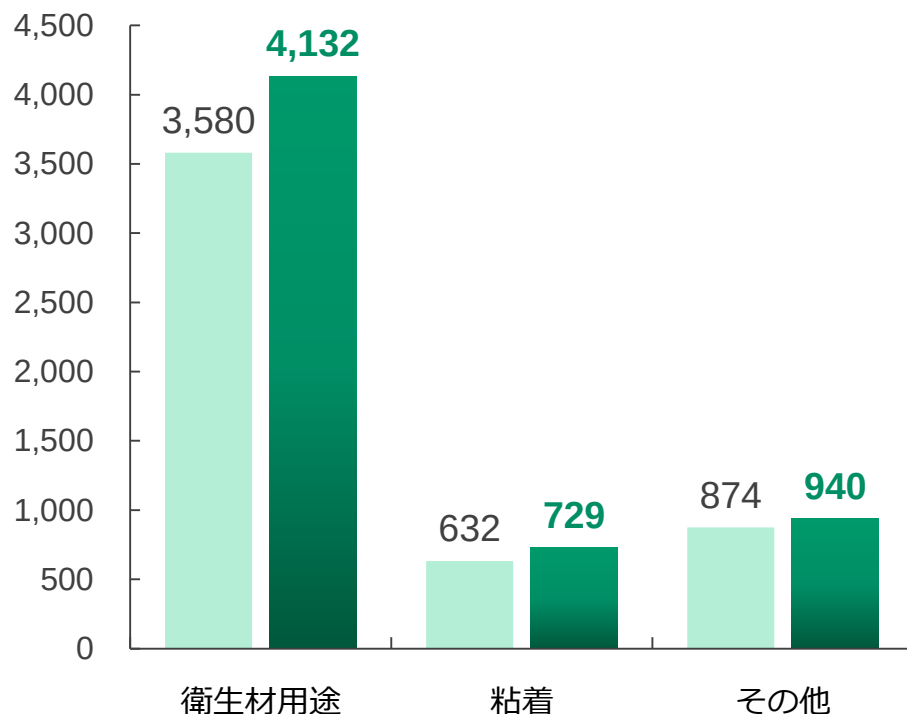
➤ 高温用潤滑油
顧客での在庫調整の影響により減収

➤ ハードディスク表面潤滑剤
前年同期並み

- 部門全体の売上は前年比14.1%増（5,801百万円）
数量は7.9%増

単位：百万円

■ 21年3Q ■ 22年3Q

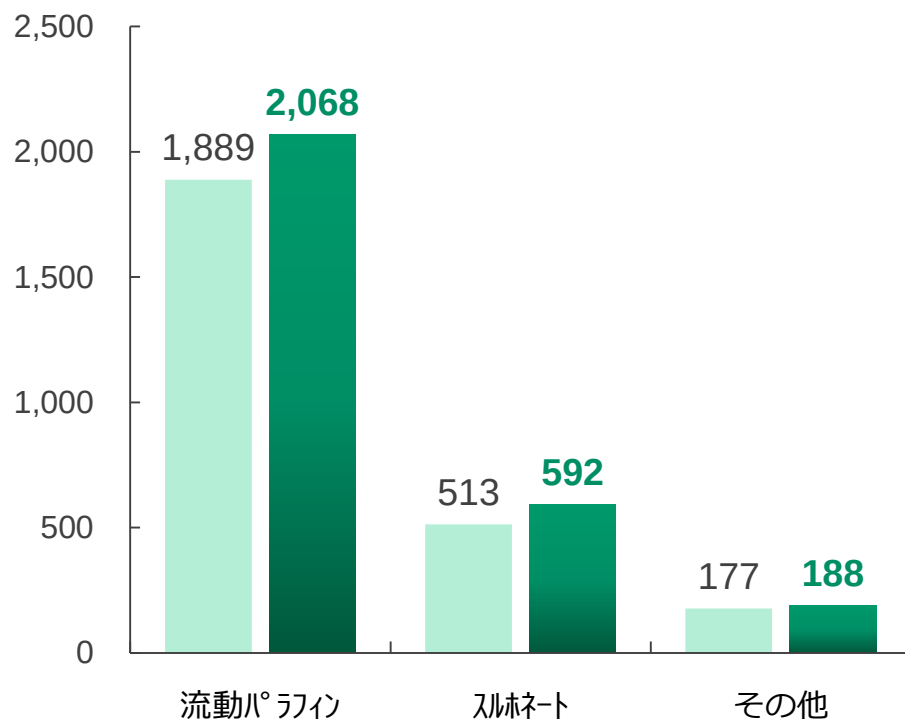


- 販売価格是正により、単価は上昇
- 衛生材用途はインド、日本、インドネシアで数量増
- 自動車関連での数量減を衛生材、粘着用途での増加がカバー

- 部門全体の売上は前年比10.5%増（2,849百万円）
数量は5.0%減

単位：百万円

■ 21年3Q ■ 22年3Q



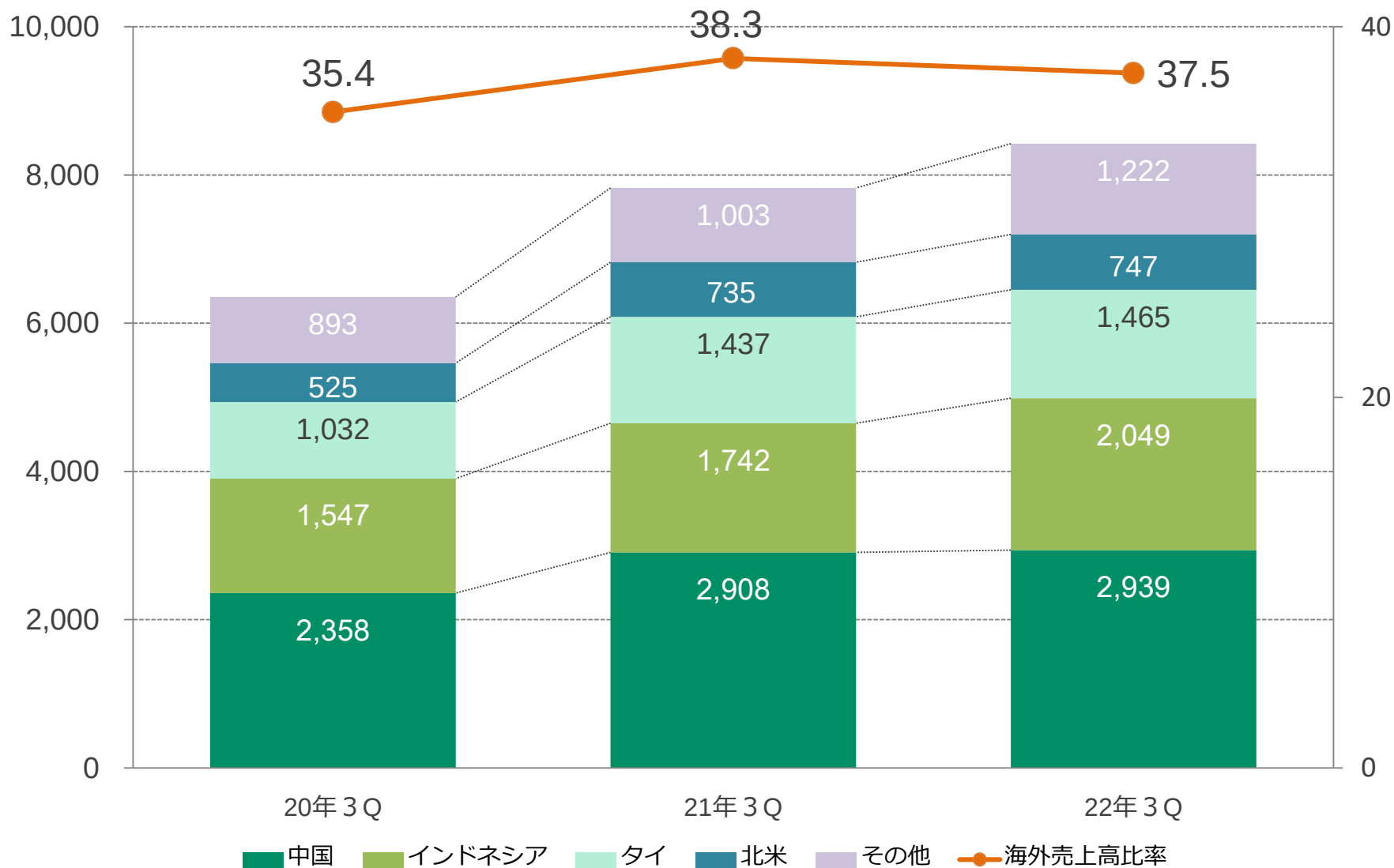
- 販売価格是正により、単価は上昇
- ポリスチレン可塑剤用途での流動パラフィンの出荷が減少

海外売上高（連結）

MORESCO

単位：百万円

単位：%



決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	21 / 3Q累計	22 / 3Q累計	前年比
売上高	20,415	22,479	+10.1%
売上総利益	6,772	6,188	△8.6%
販管費	5,397	5,677	+5.2%
営業利益	1,375	511	△62.8%
営業外損益	357	632	+77.1%
経常利益	1,732	1,144	△34.0%
特別損益	833	—	—
税引前利益	2,565	1,144	△55.4%
当期純利益 (※)	1,730	719	△58.5%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	21 / 3Q累計	22 / 3Q累計	前年比
売上高	20,415	22,479	+10.1%
売上総利益	6,772	6,188	△8.6%
販管費	5,397	5,677	+5.2%
営業利益	1,375	511	△62.8%
営業外損益	357	632	+77.1%
経常利益	1,732	1,144	△34.0%
特別損益	833	—	—
税引前利益	2,565	1,144	△55.4%
当期純利益 (※)	1,730	719	△58.5%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

単位：百万円

	21 / 3Q	22 / 3Q	増減	前年比
販売費・一般管理費	5,397	5,677	+280	+5.2%
うち、研究開発費	1,002	950	△52	△5.2%
売上高販管費比率	26.4%	25.3%		
売上高研究開発費比率	4.9%	4.2%		

決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	21 / 3Q累計	22 / 3Q累計	前年比
売上高	20,415	22,479	+10.1%
売上総利益	6,772	6,188	△8.6%
販管費	5,397	5,677	+5.2%
営業利益	1,375	511	△62.8%
営業外損益	357	632	+77.1%
経常利益	1,732	1,144	△34.0%
特別利益	833	—	—
税引前利益	2,565	1,144	△55.4%
当期純利益 (※)	1,730	719	△58.5%

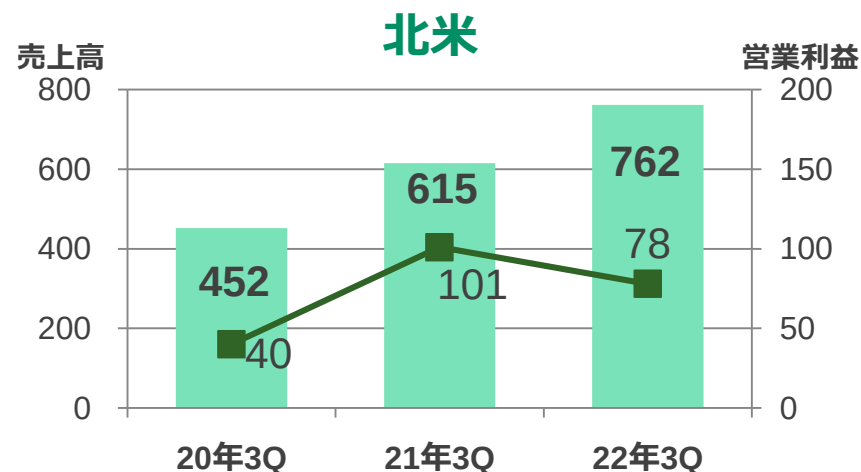
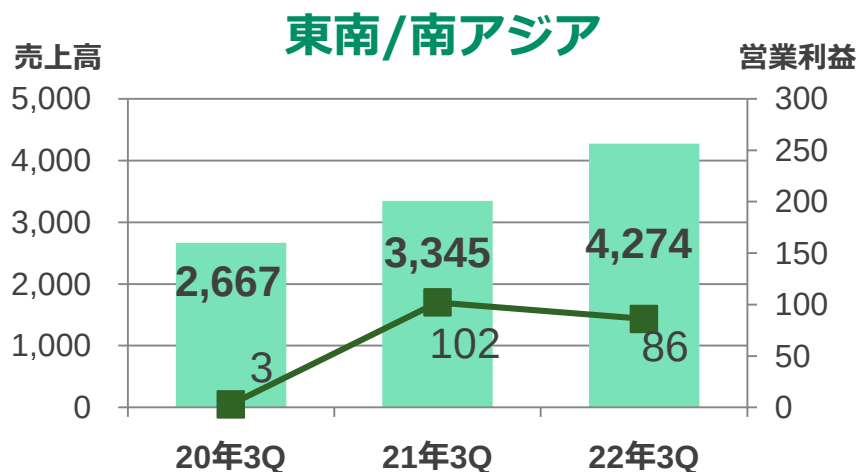
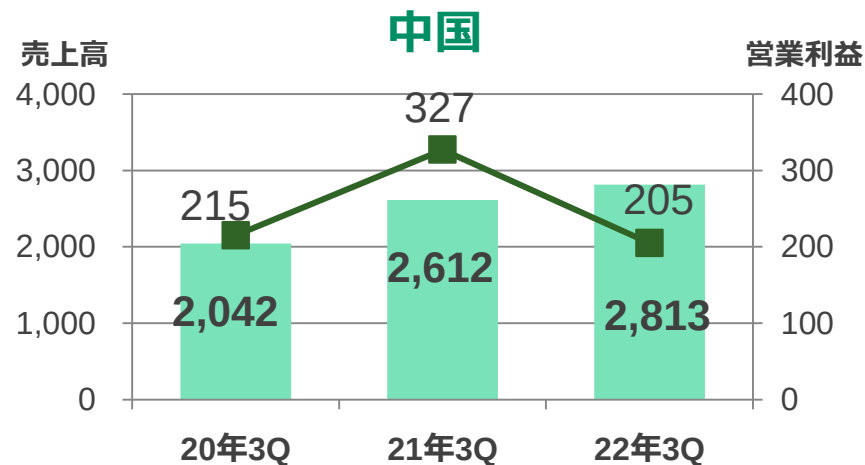
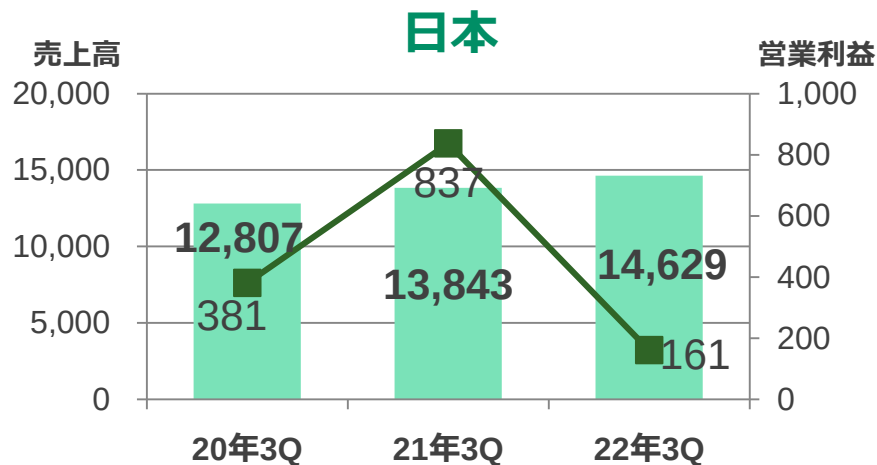
(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

地域別損益（連結）

MORESCO

■ 外部顧客への売上高 ■ 営業利益

単位：百万円



貸借対照表（連結）

MORESCO

単位：百万円

科目	22/11期末	増減	科目	22/11期末	増減
現預金	4,172	171	仕入債務	5,174	866
売上債権	7,831	987	有利子負債	1,856	946
棚卸資産	6,311	985	その他流動負債	2,244	△149
その他	613	176	その他固定負債	835	△12
流動資産計	18,928	2,321	負債合計	10,108	1,652
有形固定資産	8,537	233	資本金・資本剰余金	4,094	—
無形固定資産	643	10	利益剰余金	13,864	346
投資その他	3,820	355	自己株式	△567	△183
固定資産計	13,001	600	包括利益累計額	1,625	890
			非支配株主持分	2,804	215
			純資産合計	21,820	1,269
資産合計	31,929	2,920	負債・資本合計	31,929	2,920

注）増減：22/2期末との比較

単位：百万円

科目	22 / 2/末	22 / 11/末	増減
短期借入金※	560	1,549	+989
長期借入金	350	307	▲ 43
借入金合計	910	1,856	+946

有利子負債比率	3.1%	5.8%
---------	------	------

※ 1年以内返済予定の長期借入金を含む

2022年度 連結業績予想

MORESCO

単位：百万円

科目	2022年3Q	2022年度 通期予想	進捗率
売上高	22,479	31,500	71.4%
営業利益	511	1,110	46.0%
経常利益	1,144	1,700	67.3%
当期純利益	719	1,000	71.9%

持続可能社会の実現

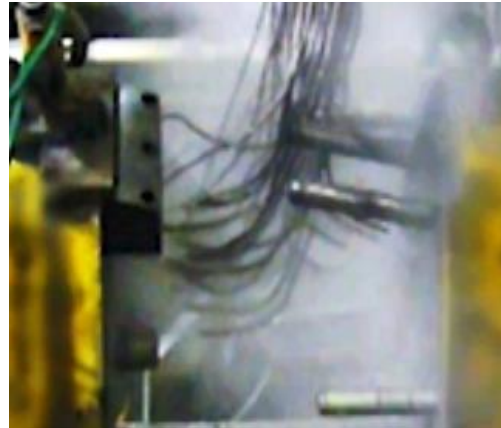
-環境負荷低減に貢献-

水溶性少量塗布型ダイカスト離型剤

➤ 極少量塗布により廃液削減と金型の長寿命化に貢献

- ✓ 従来品の**1/100**の塗布量
- ✓ 飛沫を防ぐことで環境改善
- ✓ サイクルタイムの大幅改善

従来品

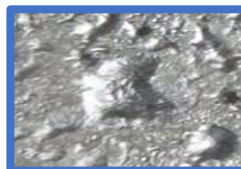
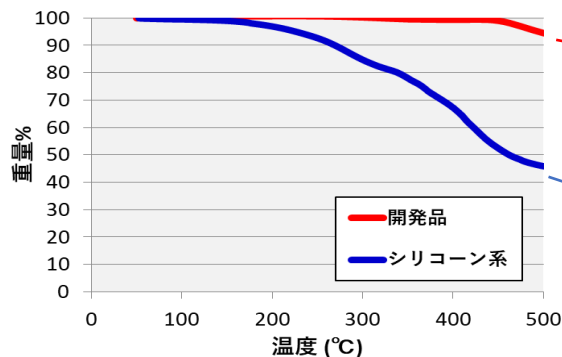


開発品



➤ 低ガス性、低腐食性により新エネルギー車のアルミ部品に使用可能

シリコン系とガス量比較



アルミ新合金適合性試験

従来品



開発品



➤ 切削油剤の状態をIoTモニタリング装置で遠隔管理・自動pH・濃度調整



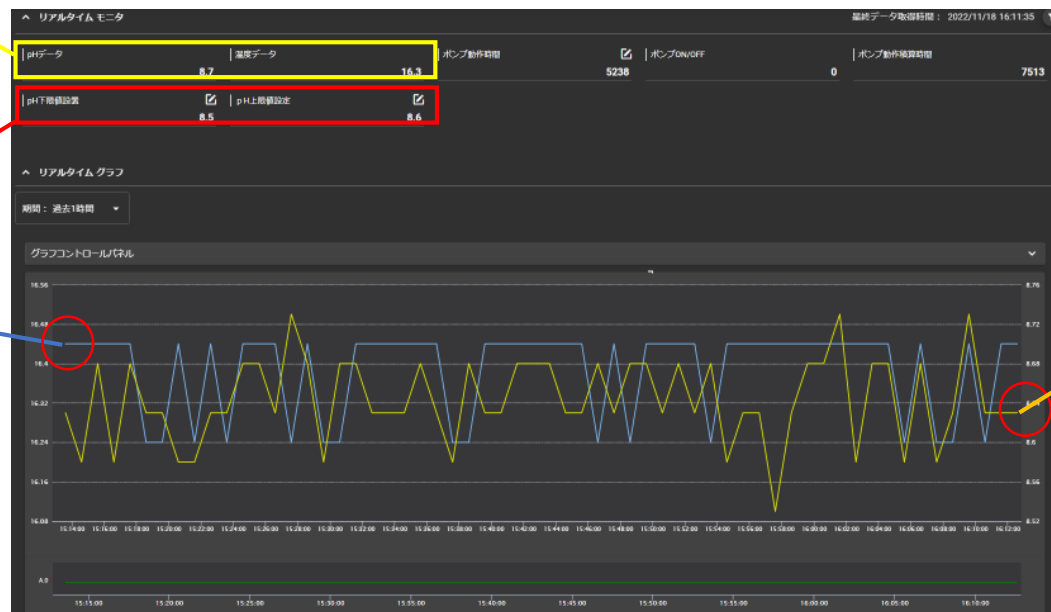
モニター画面

リアルタイム値
(pH値/温度)

pH設定値
(下限/上限)

pH値

温度



- ◆ PC又はスマートフォンにて温度、pH値の常時監視可能
- ◆ pHが適正值に収まるように自動で調整
- ◆ 切削油剤の腐敗や錆、変色等を抑制、長寿命化に貢献

トータルな提案で環境保全に貢献

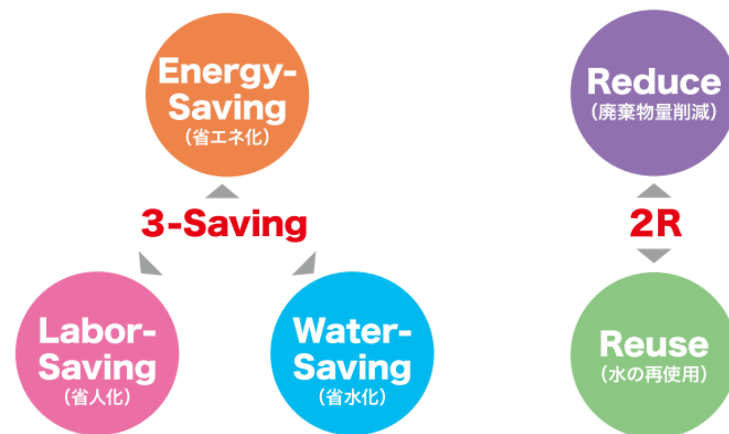
➤ 環境関連事業専門会社（MORESCOグループ）

株式会社 **マツケン**

各産業界における

「機械・部品の洗浄」から「洗浄廃水の処理」まで

装置 × 洗浄剤・処理剤 × 技術コンサル



➤ 導入事例

水溶性切削油高濃度廃水

全量産廃処分から

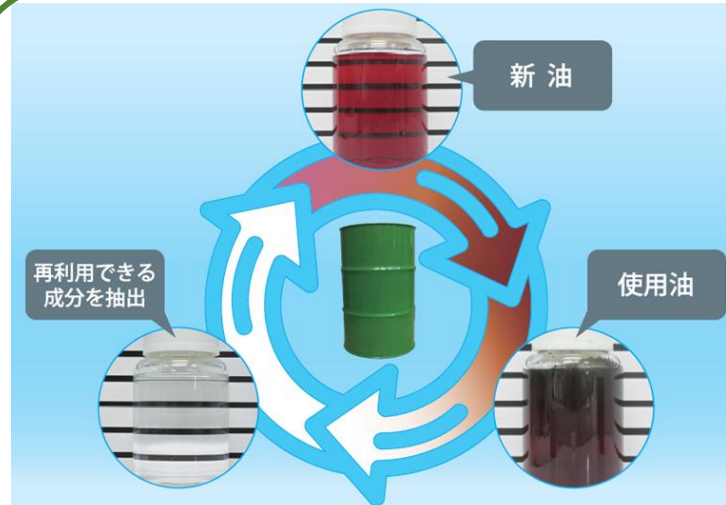
1/5濃縮液処分へ減容



サーキュラーエコノミーへの取り組み

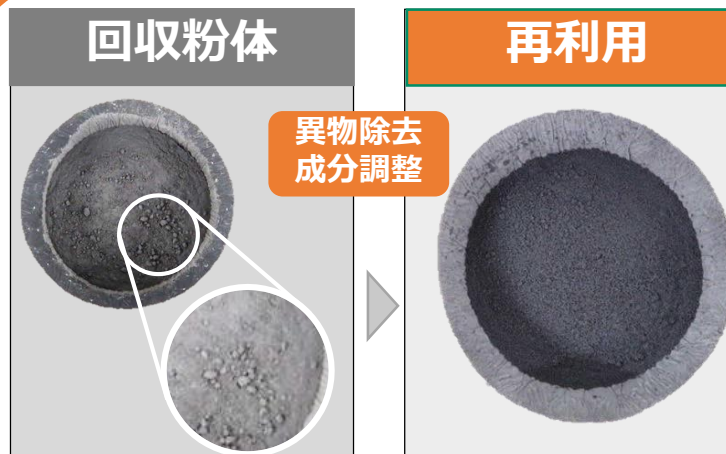
従来の取り組み

- 古くなった水-グリコール系作動液から、劣化した添加剤（全体の20%）を除き、残りを原材料に再投入



新たな取り組み

- 使用後の粉体離型剤を再利用
- 潤滑油におけるリサイクル原料の使用拡大



バイオマスマーク認定商品

➤ 植物由来樹脂を配合したホットメルト接着剤

品番	BM-546Z	BM-105	モレスコメルト バイオマス25A		
			BM-508	TN-529	TN-579Z
バイオマス度					
主成分	合成ゴム	合成ゴム	合成ゴム	合成ゴム	合成ゴム
特長	汎用ラベル向け 強粘着・低ブリード	FDA175.125準拠 (食品直貼り可)	冷凍・冷蔵品へ 貼付け可能	冷蔵品へ貼付け可能 ダイカット性良好	中粘着 汎用品 オイルブリード良好

➤ 植物由来グリコールを主成分としたナイブライン

製品名：バイオ・ナイブラインFPD

主成分：100%植物由来のグリコール1,3-プロパンジオール

特 長：プロピレングリコール（石油由来）を使用した製品より、
低温時の粘度が低く、熱に対する安定性が高い

用 途：不凍液として公共施設、食品工場、地中熱利用システム等で利用される

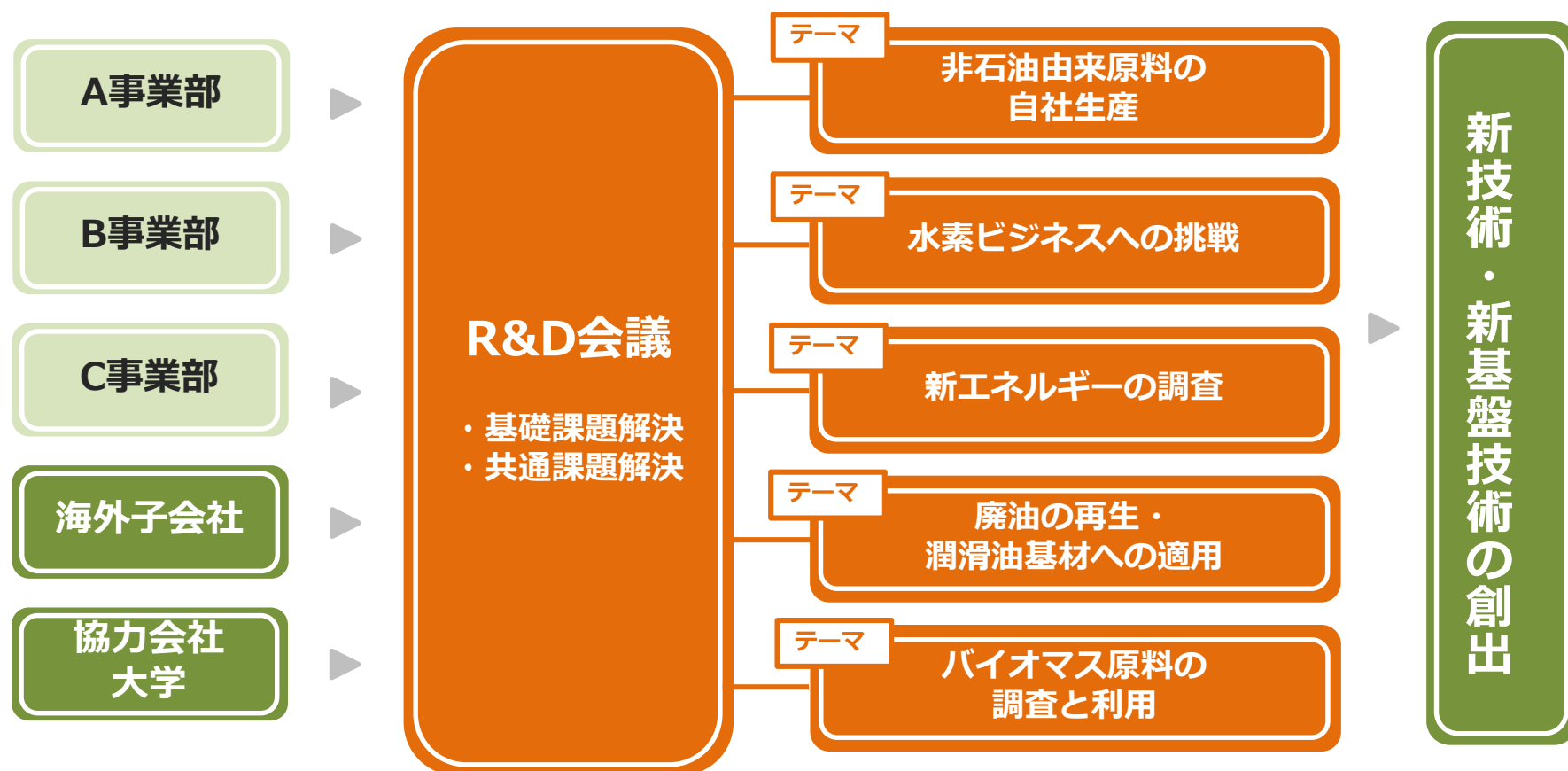


社会課題解決に向けた研究開発体制

【従来】各市場でのニーズに即応できる事業部別の開発体制

+

【新設】事業部を横断し、社内間及び産官学と連携した開発会議



...

脱炭素の取り組み

2030年までに自社消費エネルギーによるGHG排出量を**46%**削減（2013年対比）

サプライチェーンを含め、**2050年**までに**カーボンニュートラル**を実現

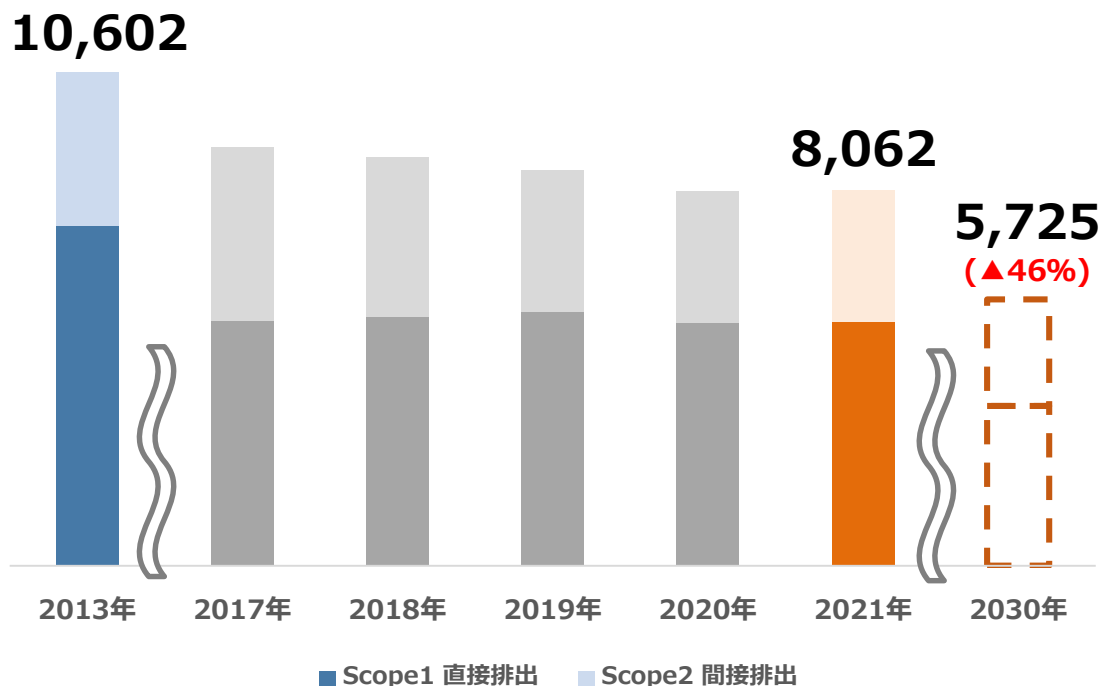
GHG排出量 **Scope 3** の目標設定を今期中公開に向けて調整中



2022年11月11日
賛同表明

MORESCOグループ（国内）のGHG排出量推移

単位: t- CO₂

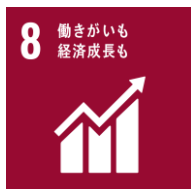


2013年対比

2021年

▲24%

健康経営への取り組み



健康経営優良法人(大規模法人部門)

2年連続認定

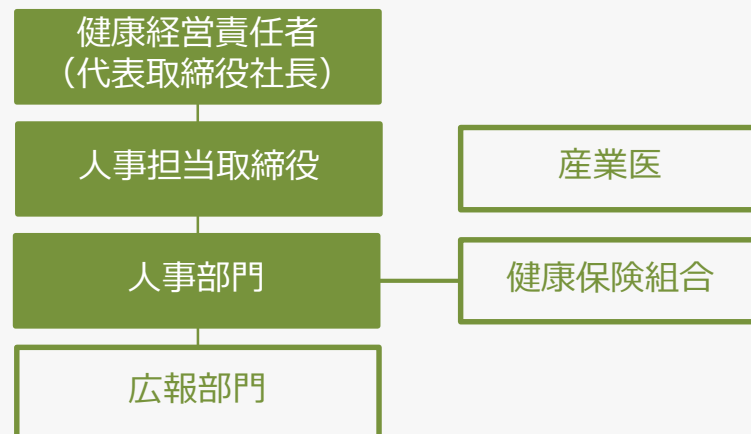


※特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度（経済産業省）

健康経営宣言

MORESCOは、従業員が心身ともに健康であることが、企業の持続的な発展に不可欠と考え、
「一人一人が豊かな環境で育ち、新たな価値を育てていく会社」を実現するため、従業員の健康づくりを推進していきます。

体制





- この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。
- 本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。
- なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。